

長岡京市第二期環境基本計画 実施計画

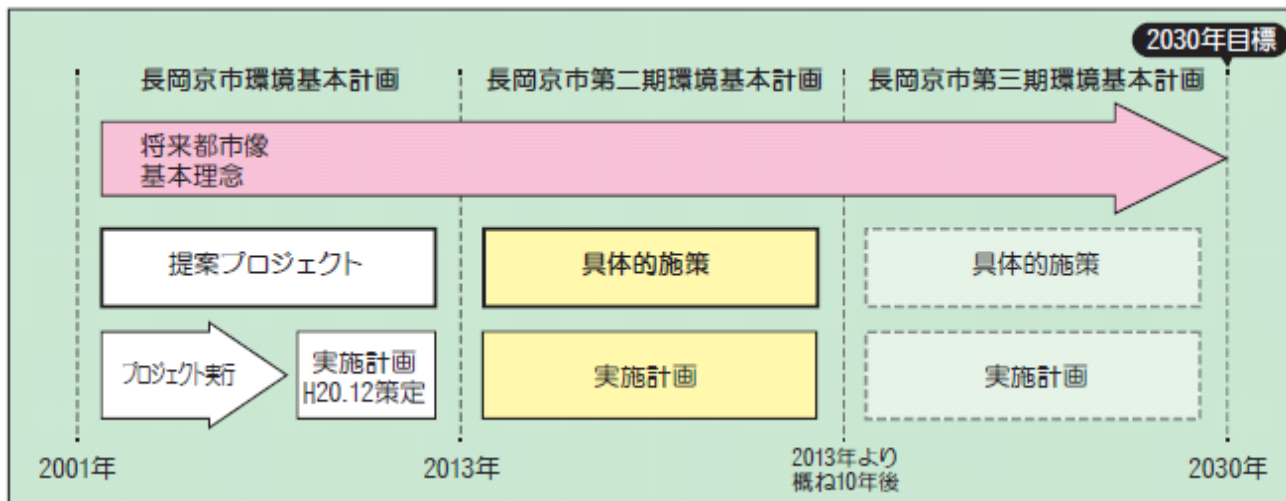
平成28年度～30年度

長岡京市

平成28年3月策定

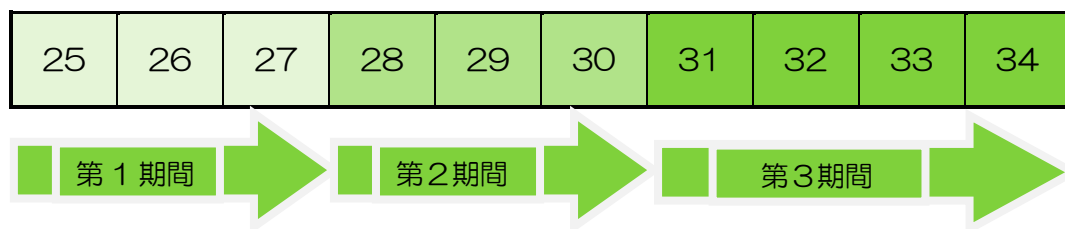
● 長岡京市第二期環境基本計画の期間

- ・計画年次は、概ね 2030 年を最終的な目標年次とし、必要に応じて逐次見直しを行います。
- ・2001 年（平成 13 年）に定めた将来都市像、7つの基本理念の実現に向け、本市における、概ね 10 年の具体的な環境施策を定めます。
- ・計画の着実な実行に資するため、長岡京市第二期環境基本計画実施計画を策定します。



● 長岡京市第二期環境基本計画実施計画の計画期間

- ・概ね 2022 年（平成 34 年）までの各基本施策の指標と具体的な取組みの進捗状況を確認します。
- ・3 年～4 年ごとに具体的な目標を立て、施策を着実に実行していきます。



● 実施計画書の見方

1. エネルギーを大切にすまちづくり → 「計画本編 第4章の項目番号」

(1) 再生可能エネルギーの活用 →

②公共空間における再生可能エネルギーの導入						
学校や公共施設などの建て替えなどの場合に、可能な限り再生可能エネルギーを導入していきます。						
	実施内容	現状値 (※)	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	太陽光発電システムの設置	累計 8 箇所	累計 10 箇所	累計 11 箇所	累計 12 箇所	公共施設 担当課

※特記のない限り、「現状値」は平成 26 年度の数値です。

- 「総計」＝長岡京市第4次総合計画実施計画の目標指標と同じもの
- 「新規」＝平成 28 年度から実施内容が新しくなったもの
- 「変更」＝平成 28 年度から実施内容が変更となったもの
- 「修正」＝実施計画期間内において目標指標・目標値を修正したもの

● 計画の管理・推進体制

各主体は、長岡京市第二期環境基本計画の着実な推進のために各役割を分担し、取り組むものとします。

【長岡京市生活環境審議会】

- ・長岡京市第二期環境基本計画の進行管理と評価
- ・市への施策提言

【“環境の都” ステップアップ・チャレンジプロジェクトチーム】

- ・“環境の都” ステップアップ・チャレンジプロジェクト（第5章）の推進
- ・活動の成果まとめ

【長岡京市】

- ・実施計画の策定・推進
- ・“環境の都” ステップアップ・チャレンジプロジェクトチームの活動との連携、協働
- ・計画の進捗状況の報告等について、情報発信、市民への周知
- ・生活環境審議会事務局、“環境の都” ステップアップ・チャレンジプロジェクトチーム事務局

計画における役割 主な主体	第4章基本施策	第5章ステップアップ・ チャレンジ
長岡京市生活環境審議会	進捗管理と評価 施策提言	進行管理と評価
ステップアップ・チャレンジ プロジェクトチーム	実施内容の行政との連携	進捗状況のまとめ
長岡京市	実施計画の策定 進捗状況の公表	チームのメンバーとして参 画・協働

1. エネルギーを大切にすまちづくり

(1) 再生可能エネルギーの活用

① 家庭、事業所などへの再生可能エネルギーの導入 薪ストーブの設置や西山産薪の購入のための助成を実施し、住宅用太陽光発電システムをはじめとする再生可能エネルギーの普及啓発を行います。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
変更	薪ストーブ設置助成・西山産薪購入助成の実施	薪ストーブ助成 件数 3 台 薪購入助成 804 束	薪ストーブ助成 件数 3 台 薪助成件数 800 束	薪ストーブ助成 件数 3 台 薪助成件数 850 束	薪ストーブ助成 件数 3 台 薪助成件数 900 束	環境政策室

②公共空間における再生可能エネルギーの導入 学校や公共施設などの建て替えなどの場合に、可能な限り再生可能エネルギーを導入していきます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	太陽光発電システムの設置	累計 8 箇所	累計 10 箇所	累計 11 箇所	累計 12 箇所	公共施設 担当課
	薪ストーブの設置	累計 3 箇所	累計 4 箇所	累計 5 箇所	累計 6 箇所	公共施設 担当課

③住民参加型再生可能エネルギー利用システムの導入 地域特性等を踏まえた再生可能エネルギーの活用を図るための住民参加型の仕組みづくりを検討します。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
新規	住民参加型の再生可能エネルギー活用の仕組みづくり	実績なし	他市事例研究	企画検討	企画検討	環境政策室

④地域特性等を踏まえた再生可能エネルギー導入の検討 地域特性等を踏まえた再生可能エネルギーの活用を図るための住民参加型の仕組みづくりを検討します。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
新規	住民参加型の再生可能エネルギー活用の仕組みづくり 《再掲》	実績なし	他市事例研究	企画検討	企画検討	環境政策室

(2) 省エネルギーの推進

<p>① エネルギー効率の改善</p> <p>市域全体の省エネルギーを推進するため、環境マネジメントシステムの取得に助成を行い、推進します。また、新庁舎の建設においては、省エネ仕様、再生可能エネルギーの活用など、環境に配慮した庁舎づくりを進めます。</p>						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	中小企業等に向けた改善支援	環境マネジメントシステム認証 取得補助件数 累計 6 件	累計 10 件	累計 12 件	累計 14 件	環境政策室
総計 新規	環境に優しい市庁舎の建設	庁舎検討部会で協議	庁舎検討部会で協議	新庁舎建設基本構想の策定	新庁舎建設基本設計	公共施設再編推進室

<p>② 持続可能型エネルギーシステムの地域モデルの開発</p> <p>環境活動団体と連携し、省エネナビを活用して、家庭での省エネを普及・啓発していきます。</p>						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
変更	省エネナビモニター事業の実施	参加世帯 電気使用量 前年比平均 14.8%削減	参加世帯 電気使用量 前年比平均 10%削減	参加世帯 電気使用量 前年比平均 10%削減	参加世帯 電気使用量 前年比平均 10%削減	環境政策室

<p>③ 省エネルギーの取組み拡大につながる広報・キャンペーンの展開</p> <p>特にエネルギー使用量が増える夏季・冬季には、広報紙やHPを活用して省エネの呼びかけを行います。また、自治会などのコミュニティへの呼びかけをとおして、啓発に力を入れていきます。</p>						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	夏季・冬季における省エネの呼びかけ	広報紙・HPでの啓発 省エネモニター結果の公表	広報紙・HPでの啓発 省エネモニター結果の公表	広報紙・HPでの啓発 省エネモニター結果の公表	広報紙・HPでの啓発 省エネモニター結果の公表	環境政策室

(3) エコ建築の普及

①エネルギー効率の高い建築物の整備 建築物のエネルギー効率を高めるため、今後施設の更新時に活用できるよう整備方針を策定します。 また既存の建物では、グリーンカーテンの設置で空調を効率よく利用できる取り組みを進めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
変更	エネルギー効率の高い公共建築物の再整備方針の導入	公共施設マネジメント基本指針を踏まえた整備方針の検討	再整備方針の検討	再整備方針の策定	再整備方針の運用	環境政策室
	公共施設での緑のカーテン等緑化の取り組み	公共施設 11箇所	公共施設での緑化規模拡大	公共施設での緑化規模拡大	公共施設での緑化規模拡大	公園緑地課
		小中学校 12校実施	全14校実施	全14校実施	全14校実施	学校教育課

②エコ建築普及につながる情報の発信 開発に伴うまちづくり協議の際に、建築業者等へ案内を行えるよう検討を進めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	まちづくり協議時の案内の範囲・内容の検討	関係課との調整・検討	案内実施	案内実施	案内実施	環境政策室

③建築物のエコ化につながる仕組みづくり 住宅そのもののエコ化を進めるため、エコリフォームに対して助成を実施します。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
新規	住宅エコリフォーム助成の実施	実績なし	助成件数 20件	助成件数 20件	助成件数 20件	環境政策室

(4) エコ交通システムの導入

①公共交通利用の促進 コミュニティバスの運行を継続するとともに、公共交通利用促進の啓発を行い、自家用車の利用を減らすことで、環境への負荷の低減や交通渋滞の緩和につなげます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
総計	利用啓発及び利便性向上策の実施	はっぴいバス 1便あたりの利用者数 13.3人	はっぴいバス 1便あたりの利用者数 13.8人	はっぴいバス 1便あたりの利用者数 14.1人	はっぴいバス 1便あたりの利用者数 14.4人	交通政策課

②低公害車の導入 公用自動車を低公害車へ転換し、環境負荷軽減に努めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	公用車への天然ガス、 ハイブリッド、電気自 動車等の低公害車導入	導入率 40.7%	導入率 44.0%	導入率 45.0%	導入率 46.0%	公用車 保有課

③自動車の排出ガスの抑制 エコドライブ（※）について啓発を行い、排出ガス抑制につなげます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
新規	エコドライブ啓発	啓発活動 1 回 市HPでの 情報提供	啓発活動 2 回 市HPでの 情報提供	啓発活動 2 回 市HPでの 情報提供	啓発活動 2 回 市HPでの 情報提供	環境政策室

※エコドライブ…環境負荷の軽減に配慮して自動車を使用すること。

④自転車利用の促進 自転車が走行しやすい道の整備を行い、自家用自動車での移動を減らすことにつなげます。また歩行者優先の自転車歩行者道の整備もあわせて行います。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	自転車走行空間の 整備	98m	160m	60m	計画策定	道路・ 河川課

⑤電気自動車の充電設備の導入 電気自動車の普及促進のため、充電設備を整備し、利用促進を図ります。							
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課	
新規	急速充電 器の利用 促進	長岡京市役所 駐車場	利用台数 64台	利用台数 80台	利用台数 85台	利用台数 90台	環境政策室
		阪急西山天王山駅 市営駐車場	利用台数 176台	利用台数 200台	利用台数 210台	利用台数 220台	交通政策課

◆エネルギーを大切にすまちづくりにおける指標

平成34年に

再生可能エネルギーの世帯当たり普及率5%以上目指します！

目標	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
再生可能エネルギーの 世帯当たりの普及率	3.08%	3.35%	3.63%	3.90%	環境政策室

2. 資源循環型社会の形成

(1) 廃棄物の発生抑制・再生利用の推進

①廃棄物の発生抑制（平成 29 年度から目標指標・目標値を修正） 生ごみを減量するため保育所及び小学校給食の食品残渣の再資源化事業を進めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
修正	生ごみのたい肥化促進によるごみの減量	エコ農園の運営 3 箇所維持	エコ農園の運営箇所維持	—	—	環境業務課
修正	保育所及び小学校給食から排出される生ごみを再資源化することによるごみの減量	—	—	再資源化を検証するため保育所 2 カ所で実施	検証結果により保育所及び小学校全体に拡充	環境業務課

②廃棄物発生抑制、再生利用につながる広報活動の展開 自治会や学校・保育所などへの出前講座を実施し、ごみ減量の啓発に努めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	出前講座の実施拡充	実施回数 19 回/年	実施回数 16 回/年	実施回数 17 回/年	実施回数 18 回/年	環境業務課

③廃棄物減量等推進員会議の活動促進 廃棄物減量等推進員会議の会員の研修や活動をとおして、地域全体のごみ減量につなげます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	廃棄物減量に伴う研修会及び啓発活動	研修会 4 回 啓発活動 1 回	研修会 4 回 啓発活動 2 回	研修会 4 回 啓発活動 2 回	研修会 4 回 啓発活動 2 回	環境業務課

(2) 資源回収の推進

① 分別収集の促進 使用済み小型家電の宅配便回収サービスを実施し、不要となった小型家電製品の再資源化に努めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
新規	宅配便回収サービスによる使用済み小型家電の回収量	実績なし	3.0 t	3.3 t	3.6 t	環境業務課

②市民が主体となった資源回収の支援 資源ごみの集団回収助成を継続して実施します。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	資源ごみ集団回収 助成事業	集団回収拠点 86 団体	団体数の維持	団体数の維持	団体数の維持	環境業務課

(3) 廃棄物の適正処理

①一般廃棄物等の適正処理（平成 29 年度より目標値を修正） 安全で適正なごみ処理に努めるとともに、分別を推進し、最終処分量の削減に努めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
修正	一般廃棄物（家庭系・事業系）を収集し、適正に処理する	一般廃棄物量 21,782.48 t	一般廃棄物量 21,343.91 t	一般廃棄物量 21,204.68 t	一般廃棄物量 20,868.51 t	環境業務課

②一般家庭用可燃ごみの収集（平成 29 年度より目標値を修正） 家庭用可燃ごみの適正な処分を行うとともに、広報紙等をとおして、排出量の削減の啓発を行います。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
総計 修正	週 2 回の収集を実施し、適正に処分する	住民一人一人 当たりのごみ 排出量 471.36 g	住民一人一人 当たりのごみ 排出量 449.48 g	住民一人一人 当たりのごみ 排出量 447.29 g	住民一人一人 当たりのごみ 排出量 437.89 g	環境業務課

③粗大ごみの収集（平成 29 年度より目標値を修正） 粗大ごみの不法投棄を減らし、適正に収集・処理を行っていきます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
修正	受益者負担による粗大ごみの適正処理	家庭系粗大ごみ 収集量 140.52 t	家庭系粗大ごみ 収集量 261.63 t	家庭系粗大ごみ 収集量 260.54 t	家庭系粗大ごみ 収集量 259.79 t	環境業務課

④適正処理に向けた広域連携 乙訓二市一町の共通課題である事業系ごみの排出量削減に向けて対策を検討します。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	乙訓二市一町での事務連絡会の開催による処理課題の解決	事業系ごみの 排出量 5,723.69t	事業系ごみの 排出量 5,347.00t	事業系ごみの 排出量 5,274.00t	事業系ごみの 排出量 5,201.00t	環境業務課

(4) 水資源の有効活用・水環境の整備

①雨水利用の推進 節水を促し、雨水を有効に活用するため、雨水タンクの設置補助を行います。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	雨水タンク設置補助の実施	4 7 基/年	4 5 基/年	4 5 基/年	4 5 基/年	下水道課

②水を大切にするライフスタイルの普及啓発 水だよりを発行し、無駄な水を使わないライフスタイルの普及・啓発に努めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	水だよりの発行	3 回/年発行	3 回/年発行	3 回/年発行	3 回/年発行	水道総務課

③下水道事業の推進 水循環機能の保全と整備を図るため、「水循環再生プラン実施計画」を策定し、雨水の貯留・浸透施設の整備を実施します。また、大雨等の浸水被害の軽減を図るため、雨水施設の整備を進めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
総計 新規	小中学校に雨水貯留浸透施設を整備	1 校	1 校	2 校	3 校	下水道課
総計 新規	10年降雨確率に対する雨水対策整備率※	65.9%	67.7%	67.7%	67.7%	

※おおむね 10 年に 1 回の大雨を想定し、下水道施設の整備を行います。このような下水道整備ができた区域の比率を「雨水対策整備率」といいます。

◆資源循環型社会の形成における指標

平成34年に
一人一日当たりの収集ごみ量523g以下を目指します！

目標	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
一人一日当たりの収集ごみ量(平成 29 年度より目標値を修正)	548.42g	541.75g	540.53g	531.31g	環境業務課

3. 自然環境の保全

(1) 西山の保全・再生・活用

①西山の森林整備 市の財産である西山を健全に守っていくため、森林整備を進めます。また利用間伐（※）を進め、継続的な森林整備につなげます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
総計	森林整備面積（竹林含む）	延べ 261.68ha	延べ 280ha	延べ 288ha	延べ 296ha	農林振興課
	森林整備面積のうち利用間伐面積	延べ 8.74ha	延べ 10ha	延べ 11ha	延べ 12ha	農林振興課

※間伐（かんばつ）…健全な森林育成のために樹木を間引くこと。利用間伐とは、その木材を利用すること。

②西山の生態系の保全 西山の多様な動植物を守るため、モニタリング調査を実施する団体等の支援を行います。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	モニタリング 1000 里地調査の支援	調査項目 4 項目	調査項目 4 項目	調査項目 4 項目	調査項目 4 項目	環境政策室

③西山の有効活用 西山への理解を深めてもらうため、キャンプ場等の有効活用を進めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	西山キャンプ場の有効活用	老朽化した付帯施設の修繕、点検・補修	老朽化した付帯設備等の修繕と関係課等との活用方法の検討	老朽化した付帯設備等の修繕と有効活用	老朽化した付帯設備等の修繕と有効活用	生涯学習課

④森林組合の育成 所有者が共同で事業を行うための森林組合を組織、運営し、森林保全等を円滑に実施していきます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	森林組合の組織運営維持	組合員数 104人	組合員数 104人	組合員数 104人	組合員数 104人	農林振興課

(2) 竹林の保全・再生・活用

①竹林の整備 西山の健全な森の育成や美しい景観保全のため、竹林整備を進めます。						
	実施内容	現状値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	担当課
	竹林整備面積	延べ12.4ha	延べ16.14ha	延べ17.14ha	延べ18.14ha	農林振興課

②竹の利活用の調査研究 竹林整備により発生した竹材の活用を図るため、竹粉や竹チップとして有効活用を進めます。						
	実施内容	現状値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	担当課
総計 新規	竹粉・竹チップ の累計活用量	累計20m ³ (H27年度見込み)	累計36m ³	累計52m ³	累計68m ³	農林振興課 環境政策室

(3) 環境にやさしい農業の推進

①低化学肥料農業等の推進 通常より手間や費用のかかる有機栽培を行っている農家に対し、補助金を交付し、安全・安心な農業の普及に努めます。						
	実施内容	現状値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	担当課
	有機栽培に対する 補助金の交付	300千円 /年	300千円 /年	300千円 /年	300千円 /年	農林振興課

②市民農園の充実 市民に農業に親しんでもらうために市民農園を運営していきます。						
	実施内容	現状値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	担当課
	シルバー農園の 運営	利用者数 190人	利用者数 181人 (最大定員)	利用者数 181人 (最大定員)	利用者数 181人 (最大定員)	高齢介護課

③地産地消の推進 学校給食に地元野菜をできるだけ取り入れ、地域固有の食文化の継承を進めていくとともに、フード・マイレージ(※)の低減にもつなげます。また、農家の安定的な販売ルートとしていきます。						
	実施内容	現状値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	担当課
総計	地産地消推進協議 会の開催による取 組みの充実	学校給食納品 額832万円	学校給食納品 額888万円	学校給食納品 額916万円	学校給食納品 額944万円	農林振興課

※フード・マイレージ…直訳は、食糧の輸送距離。環境分野での用語として、食糧の輸送に伴う二酸化炭素が地球環境に与える負荷のこと。

④農地の保全 農地銀行制度（※）を活用し、利用されていない農地を減らしていきます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	農地パトロールの 実施及び農地銀行 制度の活用	遊休農地 16.6 ha	遊休農地 12.0 ha 以下	遊休農地 11.5 ha 以下	遊休農地 11.0 ha 以下	農林振興課

※農地銀行制度…農家どうして農地の貸し借りを円滑に行うための本市独自の制度。農業委員会が仲介を行う。

（４）水辺環境の保全・再生

①河川・水路の維持管理 河川・水路の維持管理のため、清掃を行う個人や団体を支援します。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
変更	河川清掃支援	参加者数 250人 (H27年度見込み)	参加者数 260人	参加者数 270人	参加者数 280人	道路・河川 課

②ホタルの保護と育成 ホタルが生息できる自然環境を保全するため、団体や地元と協力し、河川の清掃等を行います。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
変更	ホタルの人工飼育 の実施 小泉川流域での河 川清掃 ホタル保護育成の 市民啓発	ホタルの生息 地域 西代橋 ～菩提寺橋 観賞の夕べ、捕 獲防止パトロ ールの実施	ホタルの生息 地域 西代橋 ～菩提寺橋 観賞の夕べ、捕 獲防止パトロ ールの実施	ホタルの生息 地域 西代橋 ～菩提寺橋 観賞の夕べ、捕 獲防止パトロ ールの実施	ホタルの生息 地域 西代橋 ～菩提寺橋 観賞の夕べ、捕 獲防止パトロ ールの実施	環境政策室

◆自然環境の保全における目標指標

平成34年に

西山の森林のCO₂吸収量 1,300 t-CO₂ 以上を目指します！

目標	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
西山の森林の CO ₂ 吸収量	累計 1376.70t-CO ₂	累計 1396 t-CO ₂	累計 1416t-CO ₂	累計 1436t-CO ₂	農林振興課

4. 快適な都市環境づくり

(1) 身近な緑の保全・創出

① まちなかの緑の創出 みどりのサポーター制度（※）と連携して植栽を行うなど、まちなかでの身近な緑の保全、創出を行い、緑豊かなまちづくりに取り組みます。また、緑の講習会やグリーンカーテンコンテストを実施します。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
変更	まちなかの公共空地等に植栽	まちなかに創出した緑被面積 累計 2,669 m ²	まちなかに創出した緑被面積 累計 2,800 m ²	まちなかに創出した緑被面積 累計 2,850 m ²	まちなかに創出した緑被面積 累計 2,900 m ²	公園緑地課
総計 新規	緑の講習会の参加数・グリーンカーテンコンテスト等への応募数	340人	345人	350人	455人	公園緑地課

※みどりのサポーター制度…市内の公園や道路に植樹やごみを減らす活動を行う人たちを支援する制度。サポーターとして登録されたグループには、花苗の提供や清掃用具の貸し出し等の支援を行う。

②公園緑地の整備・維持管理 公園を整備し、市民が憩えるまちをめざします。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
総計	新規公園の整備・既存公園の維持管理	住民1人あたりの公園面積 2.68 m ²	住民1人あたりの公園面積 2.94 m ²	住民1人あたりの公園面積 3.04 m ²	住民1人あたりの公園面積 3.13 m ²	公園緑地課

③緑の協会と連携した緑化の推進 みどりのサポーター制度を継続し、市内の公園などの緑化や維持管理を進めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
総計	みどりのサポーター制度の普及	みどりのサポーター数 88団体	みどりのサポーター数 96団体	みどりのサポーター数 99団体	みどりのサポーター数 102団体	公園緑地課

(2) 環境に配慮した都市の整備

①中心市街地における環境配慮型の都市基盤整備 歩道等の舗装を変えることで、遮音やヒートアイランド対策につなげます。また渋滞の緩和や中心市街地の活性化のため、阪急長岡天神駅周辺整備について検討していきます。						
---	--	--	--	--	--	--

	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	歩道の透水性舗装 や車道の遮熱性舗 装の施工	長岡京駅前線 整備に係る設 計に反映	長岡京駅前線 整備に係る設 計に反映	長岡京駅前線 整備に係る設 計に反映	長岡京駅前線整 備に係る設計に 反映	まちづくり 政策室
総計	阪急電鉄の高架化 の検討	協議・検討	まちづくり協 議会への運営 支援	まちづくり協 議会によるま ちづくり構想 策定・提案	阪急長岡天神駅 周辺整備基本計 画の策定	まちづくり 政策室

②歩行者優先の道路空間整備 府や市の道路空間を整備し、歩行者が歩きやすいまちづくりを行い、自家用自動車での移動を減らす ことにつなげます。また歩行者優先の自転車歩行者道の整備もあわせて行います。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	歩行者道の整備	259m	210m	230m	180m	道路・ 河川課
	電線類地中化の推 進	京都府計画へ の位置付けを 要望中	長岡京駅前線 整備に係る設 計に反映	長岡京駅前線 整備に係る設 計に反映	長岡京駅前線 整備に係る設 計に反映	まちづくり 政策室

③個性ある景観の保全・形成 西山や八条ヶ池など本市の個性ある景観を保全していきます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
総計	「長岡京市景観計 画」の内容見直し	重点地区指定 の審議に向け て検討	重点地区の指 定及び地域特 性に応じた基 準の設定	公共施設景観 形成方針等の 検討及び審議	新景観計画策 定（「長岡京市 景観計画」の変 更）	都市計画課

(3) 歴史文化資源の保全・活用

①歴史的名所の活用 歴史名所の活用をとおして、本市独特の景観やまちなみを保存していきます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	神足ふれあい町家 の活用	入館者数 17,975人	入館者数維持	入館者数維持	入館者数維持	生涯学習課

	②ふるさと資料館の整備 本市の歴史を伝え、本市固有の文化や伝統を保全、継承していきます。					
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
総計 新規	埋蔵文化財センターの啓発事業参加者数	参加者数 3,600 人 (H27 年度見込み)	参加者数 3,600 人	参加者数 3,600 人	参加者数 3,600 人	生涯学習課

(4) 環境美化の推進

	①地域の清掃活動の促進 ごみゼロ運動を支援し、市民の美化意識の向上を図ります。					
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	530 運動参加団体への支援	118 団体 12,112 人	支援継続	支援継続	支援継続	環境業務課

	②散乱ごみのない美しいまちづくり まちをきれいにする条例に基づき、市民の美化意識の向上を図るとともに、美化パトロールとワンワンパトロールを行います。					
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
変更	美化パトロール・ワンワンパトロールの実施	美化パトロール 16 回/月 1 回/日 ワンワン パトロール 2 回/日	美化パトロール 16 回/月 2 回/日 ワンワン パトロール 2 回/日	美化パトロール 16 回/月 2 回/日 ワンワン パトロール 2 回/日	美化パトロール 16 回/月 2 回/日 ワンワン パトロール 2 回/日	環境政策室

(5) 適切な環境管理

	①環境調査の推進 騒音・水質等の各種環境調査を実施し、結果によっては適切な対策を進めます。					
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	各種環境調査の実施	基準超過件数 10 件	基準超過件数 減少	基準超過件数 減少	基準超過件数 減少	環境政策室

総計 新規	小畑川、小泉川の水質の保全	(小畑川(井ノ内橋))透視度：27 cm BOD：1.1 mg/l PH：7.9 (小泉川(西代橋))透視度：30 cm以上 BOD：0.5 mg/l 以下 PH：7.7	小畑川、小泉川の透視度：30 cm以上、BOD：2 mg/l 以下、PH：6.5～8.5の維持	小畑川、小泉川の透視度：30 cm以上、BOD：2 mg/l 以下、PH：6.5～8.5の維持	小畑川、小泉川の透視度：30 cm以上、BOD：2 mg/l 以下、PH：6.5～8.5の維持	環境政策室

<p>②環境保全に係る啓発</p> <p>誰もが住みやすいまちづくりを進めるため、継続してポイ捨て禁止や犬のフンの持ち帰りなど生活環境向上のための啓発を行います。</p>						
	実施内容	現状値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	担当課
	生活環境向上のための啓発	広報紙・市ホームページへの生活環境マネー啓発記事の掲載	広報紙・市ホームページへの生活環境マネー啓発記事の掲載	広報紙・市ホームページへの生活環境マネー啓発記事の掲載	広報紙・市ホームページへの生活環境マネー啓発記事の掲載	環境政策室

◆快適な都市環境づくりにおける目標指標

平成34年に
住民一人当たり公園面積の増加を目指します！

目標	現状値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	担当課
住民一人当たり公園面積	2.68㎡	2.94㎡	3.04㎡	3.13㎡	公園緑地課

5. 協働・環境学習・エコアクションの推進

(1) 市民活動のサポート機能の拡充

①市民活動サポートセンター機能の拡充 交流や団体の活動支援を積極的に行い、利用しやすい運営に努めます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
総計	市民活動サポートセンターの管理運営	市民活動サポートセンター 団体登録数 135団体 ネットワーク に関する 相談件数 延べ51件	市民活動サポートセンター 団体登録数 136団体 ネットワーク に関する 相談件数 延べ57件	市民活動サポートセンター 団体登録数 137団体 ネットワーク に関する 相談件数 延べ60件	市民活動サポートセンター 団体登録数 138団体 ネットワーク に関する 相談件数 延べ63件	自治振興室

②各種団体・サークル等の活動支援 環境啓発イベントにおいて団体等の活動を紹介し、環境づくりに取り組む市民を増やします。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
変更	環境団体・サークル等の担い手発掘に向けての支援	ステップアップ・チャレンジ会議の運営	ステップアップ・チャレンジ会議の運営/イベントを通じた活動紹介	ステップアップ・チャレンジ会議の運営/イベントを通じた活動紹介	ステップアップ・チャレンジ会議の運営/イベントを通じた活動紹介	環境政策室

③中間支援組織母体の立ち上げに向けたプラットフォームづくり 環境保全活動団体の課題に対応するため、団体間の交流や担い手発掘を促進し、団体間の連携づくりに取り組みます。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
変更	団体間連携の促進	竹林整備団体交流会の開催	交流会等の開催	交流会等の開催	交流会等の開催	環境政策室

(2) 環境を担う人づくり・人結び

①環境活動を担う人づくり 環境保全活動の担い手を発掘、育成していきます。また西山での環境学習を実践できる人材を育成します。						
	実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
	地域の環境活動を担う人材養成講習会・研修会の実施	受講者数延べ 38人	延べ70人	延べ85人	延べ100人	実施課

	<教員向け>西山の自然を活用した環境学習のオリエンテーションの実施	延べ参加者数 55名	延べ参加者数 104人	延べ参加者数 124人	延べ参加者数 144人	学校教育課 農林振興課 環境政策室
--	-----------------------------------	---------------	----------------	----------------	----------------	-------------------------

②グリーンコンシューマー活動の支援 グリーンコンシューマー活動を支援し、環境に配慮した暮らし方について提案・啓発を行います。						
	実施内容	現状値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	担当課
新規	グリーンコンシューマー活動の支援	実績なし	啓発方法の 企画・検討	啓発活動 の実施	啓発活動 の実施	環境政策室 環境業務課

③環境地域通貨の導入 環境負荷を減らすための取組みにより多くの人に参加してもらうための仕組みを検討します。						
	実施内容	現状値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	担当課
変更	エコストアを活用した地域通貨の検討	他市事例 研究	企画検討 試行実施	実施	実施	環境政策室 環境業務課

(3) 環境学習の推進

①環境学習の機会づくり 小中学校における環境学習指導時間を今よりも充実させていきます。また、出前講座や環境講演会等、一般向けや学校外での環境学習の機会をつくります。						
	実施内容	現状値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	担当課
	小中学校の環境学習の充実	各学年指導時間数 小学校 19.3時間 中学校 11.4時間	各学年指導時間数 小学校 20時間以上 中学校 5時間以上	各学年指導時間数 小学校 20時間以上 中学校 5時間以上	各学年指導時間数 小学校 20時間以上 中学校 5時間以上	学校教育課
総計	環境学習会等の開催回数・参加者数	9回 276人/年	9回 285人/年	9回 290人/年	10回 310人/年	環境政策室
変更	子どもエコ教室・環境教育ミーティング、放課後子ども教室（環境活動体験）等の実施	参加者数 377人/年 (H27年度見込み)	参加者数 380人/年	参加者数 390人/年	参加者数 400人/年	中央公民館 文化・スポーツ振興室

②西山を活用した自然体験学習の推進 西山の大切さを多くの人に知ってもらうため、特に子どもたちに体験学習の機会をつくれます。					
実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
西山ファミリー環 境探検隊の実施	3回・47人 参加	4回・80人 参加	4回・90人 参加	4回・100 人参加	環境政策室
西山を活用した環 境教育の実施	小学校8校	全小学校 (10校)	全小学校 (10校)	全小学校 (10校)	学校教育課

③環境啓発型イベントの開催、イベントへの出展 環境保全活動に興味を持ってもらうため、参加しやすいイベントを実施し、啓発を進めます。					
実施内容	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
環境フェア・長岡 京 竹あそびなど のイベント実施	参加者数延べ 約9,060人 ／年	参加者数延べ 約9,000人 ／年	参加者数延べ 約9,000人 ／年	参加者数延べ 約9,000人 ／年	環境政策室

◆協働・環境学習・エコアクションの推進における目標指標

平成34年に

環境ボランティア養成講座の延べ受講者数の増加を目指します！

目標	現状値	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 目標値	平成 30 年度 目標値	担当課
環境ボランティア養成講座の 延べ受講者数	延べ38人	延べ70人	延べ85人	延べ100人	実施課